

日高町アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	日高町アイヌ政策推進事業
2 事業の種類	文化振興事業 地域・産業振興事業 コミュニティ活動支援事業
3 事業の目的	アイヌ文化の保存と継承、普及啓発に資する施策を展開するとともに、アイヌ民族の歴史や文化に対する町民の理解を深めることにより、次世代へ継承し、アイヌの人々の誇りが尊重される地域社会・共生社会の実現を目指す。
4 事業の概要	(1) 文化振興事業 ①アイヌ文化体験交流事業 ○事業実施主体：日高町 ○事業の実施場所：日高町門別総合町民センター ○事業の実施期間：交付決定の日～令和8年3月 ○事業の内容と考え方 町民がアイヌ文化の歴史を学習し理解を深める機会として、アイヌ文化施設等を巡る研修会を開催し、学芸員らに解説を依頼するなどをして、アイヌ文化や歴史への理解を深める。 ②アイヌ文様普及啓発事業 ○事業実施主体：日高町 ○事業の実施場所：日高町ほか ○事業の実施期間：交付決定の日～令和8年3月 ○事業の内容と考え方 日高町で生産した酒造好適米を100%使用した地酒のパッケージにアイヌ文様を印刷し、アイヌ文様に関する解説を記載することで、アイヌ文化や歴史への理解を深める。 (2) 地域・産業振興事業 ①地域循環型バス運行事業 ○事業実施主体：日高町 ○事業の実施場所：日高町一円 ○事業の実施期間：交付決定の日～令和8年3月 ○事業の内容と考え方 生活館等を拠点とし、アイヌの人々のコミュニティ活動や地域住民の生活を支える町内循環型の公共交通網を整備し、生活交通基盤を確保することにより、アイヌの人々の福祉向上を図る。また、交通車両にアイヌ文様のラッピングを施すことにより、日常的にアイヌ文化の情報に触れ、アイヌ文化への理解促進や普及振興を図る。 (3) コミュニティ活動支援事業 ①生活館改修・整備事業

	○事業実施主体：日高町 ○事業の実施場所：平賀生活館、幾千世生活館 ○事業の実施期間：交付決定の日～令和８年３月 ○事業の内容と考え方 アイヌの人々を含めた地域住民の交流の場や活動拠点となっている生活館の施設整備を行い、施設利用の利便性を高めるとともに、地区におけるコミュニティ活動促進に寄与する。 ○施設整備の場所及び用地の概要 ・平賀生活館 日高町字平賀３１２番地１、町有地/９９６㎡ ・幾千世生活館 日高町字幾千世１６６番地２、町有地/４，８７４㎡ 【事業概要】 令和４年度 富川生活館増築実施設計 富川生活館屋内照明器具取替（ＬＥＤ化） 新光町生活館屋根外壁塗装 広富生活館床改修 令和５年度 富川生活館増築工事 清島生活館屋根外壁塗装 令和６年度 厚賀生活館屋根外壁塗装 庫富生活館屋根外壁塗装 令和７年度 平賀生活館屋根外壁塗装 幾千世生活館屋根外壁改修 令和８年度 佐留太生活館屋根外壁塗装 賀張生活館屋根外壁塗装
５ アイヌ施策推進地域計画における記載	４－１ アイヌ文化の保存又は継承に資する事業 ※該当なし ４－２ アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業 ①アイヌ文化体験交流事業 国立アイヌ民族博物館や平取町立二風谷アイヌ文化博物館への体験学習研修会を行うとともに、古式舞踊やアイヌの昔遊びの体験ができる体験交流会を開催し、アイヌ文化や歴史への理解を促進する。 ③アイヌ文様普及啓発事業 地酒にアイヌ文様ラベルを貼付等し、アイヌ文化や歴史への理解を促進する。 ４－３ 観光の振興その他の産業の振興に資する事業 ①地域循環型バス運行事業 地域住民の交流の場である生活館等を拠点にバス運行事業を

	実施し、生活交通網基盤の確保と強化を図る。 事業に用いる交通車輛をアイヌ文様のラッピングを施すとともに、車輛内にもアイヌ文化や地域に関する歴史を掲示し、日常的にアイヌ文化の情報に触れることで、アイヌ文化への理解促進、普及振興を図る。 4-4 地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の推進に資する事業 ① 生活館改修・整備事業 日高アイヌ協会の活動拠点となる生活館の改修・整備事業を行い、アイヌの人々のコミュニティ活動の支援や、地域住民との活動環境の改善を図り施設利用の利便性を高める。
6 事業の成果目標等	
(1)成果目標の達成に向けた工程	(1) 文化振興事業 ①アイヌ文化体験交流事業 町民がアイヌ文化を学び体験することによってアイヌの歴史や文化への理解が深まり、研修会の参加人数が増えるほど効果が高まると考えられる。 ②アイヌ文様普及啓発事業 アイヌ文様を広く知ってもらうことによってアイヌの歴史や文化への理解が深まり、購買域が広がるほど効果が高まると考えられる。 (2) 地域・産業振興事業 ①地域循環型バス運行事業 交通基盤を強化することでコミュニティ活動の安定化・活性化、アイヌ文化の振興が図られ、アイヌ文化への理解が推進される事業であり、車輛の利用者数が増えるほど効果が高まると考えられる。 (3) コミュニティ活動支援事業 ①生活館改修・整備事業 アイヌの人々や地域住民の活動環境の改善を図ることで、老朽化対策だけではなく、高齢者や障がい者にも配慮した施設となり、施設におけるアイヌ文化伝承活動や地域内のコミュニティ活動が活発に行われ、生活館の利用者数が増えるほど効果が高まると考えられる。
(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること	(1) 文化振興事業 ①体験交流会事業参加者数 (現 状 地) 14人/年間 (令和5年度) (最終目標) 40人/年間 ②図書館郷土資料館利用者数 (現 状 値) 11,880人/年間 (令和5年度)

と)	(最終目標) 14,000人/年間 (2) 地域・産業振興事業 ①地域循環型バス運行事業バス利用者数 (現 状 値) 0人/年間 (令和5年度) (最終目標) 14,880人/年間 (3) コミュニティ活動支援事業 ①生活館利用者数 (現 状 値) 10,882人/年間 (令和5年度) (最終目標) 16,000人/年間 ※全ての最終目標は、令和8年度に達成する見込みである。
(3)成果目標の確認方法	各KPIについて、実績値を公表する。また、目標達成状況等について検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。
7 地域の概要	
(1)地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題	日高町は、平成18年に旧日高町と旧門別町が合併し、現在の日高町となった。二つの地域は平取町を挟み、北に日高地区（旧日高町）と南に（旧門別町）にわかれ沙流川でつながっており、豊かな自然環境から農業や漁業を基幹産業としている。 沙流川は太平洋に注いでおり、その豊かな自然背景からアイヌの人々は古くから集住し、恵まれた環境の中で漁労・狩猟・採集を行い、松前藩と交易を行っていた。 アイヌの近世最大の蜂起とされている「シャクシャインの戦い（1669年）」は、松前藩の一方的な支配に抵抗して起きたものであり、メナシウンクル（東の衆）に属するシベチャリの首長シャクシャインらとシュムンクル（西の衆）に属するハエ（門別地区に流れる波恵川流域）の首長オニビシらの間の漁猟圏をめぐる争いが端とされている。 また、門別の名はアイヌ語で「モ・ペツ（静かな川）」、日高町と改称された右左府村の右左府はアイヌ語で「ウシャップ（両方に出入口のある所）」が由来であり、「平賀（ピラカ＝崖の上）」や「富仁家（トンニカラブ＝樺樹を取る所）」など町内にはアイヌ語由来の地名が数多く残され、地区名や山、川、沢、橋梁名の呼称など、今も人々の生活の中で生きている。 日高町には昭和21年4月に北海道アイヌ協会門別支部が設立（平成29年12月に同支部を解散し、同日付で日高アイヌ協会を設立）し、アイヌの人々の遺骨を取骨した富川高台納骨堂におけるシンヌラッパ（先祖供養祭）や富川生活館等を活動の拠点としてアイヌ文様刺しゅうの教室など、伝統的儀礼やアイヌ文化の復興や伝承を図るとともに、アイヌ文化等の発信を行ってきた。また、門別図書館郷土資料館や富川生活館では、アイヌ文化への理解を深めるために、アイヌ民

	具をはじめとする関連資料の保存や展示を行い、アイヌの歴史や文化に触れる機会の充実を図ってはいるが、十分に浸透しているとは言い難く、活動の拠点となっている生活館については、建物も古く、日常的な利用機能や非常時の利用としても支障をきたし、改修・改善への要望も多い。 日高町においては、伝統や文化を受け継いできた協会の減少や高齢化、アイヌをルーツに持ちながら表明しない人々や自覚をしない人々の増加から、アイヌ文化の伝承・継承活動を行うことが困難になっており、アイヌ文化の担い手の確保と次世代への円滑な継承が喫緊の課題であるとともに、アイヌ文化に関する理解と歴史認識が時代とともに薄らぎがあることから、課題解決に向け、アイヌの人々によるアイヌ文化の保存伝承活動を促進する取り組みや町民がアイヌ民族についての理解を深めるためのアイヌ文化に触れる機会を増加するなど、アイヌか否かを問わず、アイヌ文化に対する愛着や誇りを持って生きられる社会を築くための独自性のある施策を展開する必要がある。
(2)施設等の管理運営体制	町内各生活館は、日高町が管理している。 門別図書館郷土資料館及び日高図書館郷土資料館は、日高町教育委員会が管理している。
(3)アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	日高アイヌ協会及び生活館運営委員会とは適時意見交換を行っており、地域計画の了承を得ている。

8 収支予算

(1)収入の部

(単位：円)

区分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (前年度精算額)	比較増減	
			増	減
国庫補助金	56,143,662	20,869,872	35,273,790	0
市町村負担金	14,035,916	5,218,418	8,817,498	0
その他	2,679,000	654,000	2,025,000	0
計	72,858,578	26,742,290	46,116,288	0

(2)支出の部

(単位：円)

経費区分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (前年度精算額)	比較増減	
			増	減
(1)文化振興事業	435,000	1,596,950	0	-1,161,950
報償費	75,000	0	75,000	0
旅費	0	3,200	0	-3,200
需用費	30,000	155,236	0	-125,236
使用料賃借料	0	101,750	0	-101,750
委託費	330,000	330,000	0	0
工事請負費	0	0	0	0
備品購入費	0	1,006,764	0	-1,006,764
(2)地域・産業振興事業	52,373,878	10,031,340	42,342,538	0
需用費	2,563,200	614,100	1,949,100	0
委託料	29,989,008	9,417,240	20,571,768	0
備品購入費	19,821,670	0	19,821,670	0
(3)コミュニティ活動支援事業	20,049,700	15,114,000	4,935,700	0
委託料	0	0	0	0
工事請負費	20,049,700	15,114,000	4,935,700	0
合 計	72,858,578	26,742,290	46,116,288	0
報償費	75,000	0	75,000	0
旅費	0	3,200	0	-3,200
需用費	2,593,200	769,336	1,823,864	0
使用料賃借料	0	101,750	0	-101,750
委託費	30,319,008	9,747,240	20,571,768	0
工事請負費	20,049,700	15,114,000	4,935,700	0
備品購入費	19,821,670	1,006,764	18,814,906	0